

🏠 地蔵

住宅街にひっそりと佇む地蔵。
 徒歩数分の間隔に2つあった。地蔵は地域の守り神という説があるが、詳しく地域住民に聞くことができなかったため分からない。上の地蔵はスタイをしていること、向かって右に子供用のおもちゃが置いてあったことから、上と下の地蔵はそれぞれ別の意味を持っていると考える。



🏠 上名貫神社

御祭神 菅原道真公
 御神徳 学業成就・出世成就・農耕守護・災難除け、など
 御祭礼 夏祭 7月13日
 水神祭 10月第3日曜日
 冬祭 12月13日
 御由緒 当神社の創建はいつの時代であったか伝えられていない。「天保寺社帳」によれば、轟大明神、芋川村天神、苙生権現山神、木和田祇園・天神・山神、都農町日向国一之宮、尾鈴大明神、上名貫村天神との記載がある。

◎三日月石 (右上写真)

御祭神 月読命
 社殿に向かって右側にお祀りされている「三日月石」は、石の表面に三日月が浮き出ており、地区民からは「三日月さん」と呼ばれている。名貫川を挟んで北側の名貫地区には三日月石を御神体とする「三日月神社」がお祀りされている。

◎水神様 (右下写真)

御祭神 水波能売神高籠神
 社殿向かって左奥の茂みの中に、当地域の水の守り神である水神様がお祀りされている。神社の記録(棟札)では、天保4年11月に水波能売神と高籠神の2柱をお祀りされたのが始まりのようだ。10月の第3日曜日に、この水神様の前でご神恩に感謝する駄祈禱(水神祭)が執り行われる。



🏠 ぶどう

いくつものハウスでぶどうが育てられていた。お話を聞くことが出来なかったため調べたところ、シャインマスカットや本県ブランドのハニービーナス、デラウェアなど7品種を育てているそう。事前学習で学んだ、日本一の不適地・都農町でぶどう栽培を始めた永友百二さんに直接指導してもらったのが、この農家河野さんのお父様だという。(永友百二さんは、終戦直後からぶどう栽培に着手し、昭和28年に県内で初めて巨峰を植付けた方だ。)



🏠 水田近くの記念碑

「昭和五十二年度 第二次農業構造改善事業」と記されていた。零細農家が担ってきた農業を、生産性の高い大規模経営に担う農業に変えようとする政策のことで、指定を受けた市町村が国からの補助で土地基盤の整備や機械等の近代化の導入を行ったという。



🏠 キャベツ畑と出荷準備中のキャベツ

出荷準備中のキャベツのうの方にお話を聞いた。出荷準備だった場所の近くの畑でキャベツを栽培しており、6月頃が主な収穫期となるそうだ。都農農協を通して、名古屋のお店の契約農場であり、今回のキャベツもそこへ運ばれるそう。これまでは、大阪や北九州でも販売していて、県外への出荷がほとんどだという。



🏠 地域福祉バス

篠別府公民館の近くにバス停があり、おとな200円、小学生以下100円で利用できる。



まとめ

今回、都農町に足を運んでみて、現地に行くことで気づくことがあった。特に、事前学習で抱いていた都農町のイメージとしては、高齢化が進んでおり耕作放棄が多いイメージだった。しかし、実際は畑として機能している所が多く、第一次産業が盛んだということを感じ取った。また、都農ワインが有名なだけあって、ぶどうのビニールハウスの面積の大きさには驚いた。水資源や広大な土地が、この都農町の誇る地域資源だと考える。これらを枯渇させないようにしながら有効活用し、付加価値をつけられるような知恵をこれから身につけたいと考えた。



Cグループ (20班)